

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年 6月 29日

大分県知事  
広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県大分市大字竹中大六1146

氏 名 株式会社NIPPO 大分統括事業所

所 長 松 本 晃

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 097-597-4441

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 NIPPO 佐伯出張所
事業場の所在地	大分県佐伯市字女島10438
計画期間	平成28年4月1日から平成29年3月31日
当該事業場において現におこなっている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	42,938,000円 (元請完成工事高) 平成28年3月期
③従業員数	6人 (平成28年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルト・コンクリート破片は、自社アスファルトプラントで自ら中間処理した後、AS再生骨材および再生合材として再生利用および販売を行う。それ以外の産業廃棄物は、処理委託し再生利用を促進し最終処分量を低減する。

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙による

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成27年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 発生抑制を考慮した施工方法を検討した。(オーバーレイ工法等) 再生利用ルートの確保 廃棄物の分別を徹底し、再生利用を推進する		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 発生抑制を考慮した施工方法の検討(オーバーレイ工法等) 再生利用ルートの確保 廃棄物の分別を徹底し、再生利用を推進する。 発生抑制の為の教育・訓練指導を強化する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物と有価物の分別の徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も廃棄物と有価物の分別を徹底する

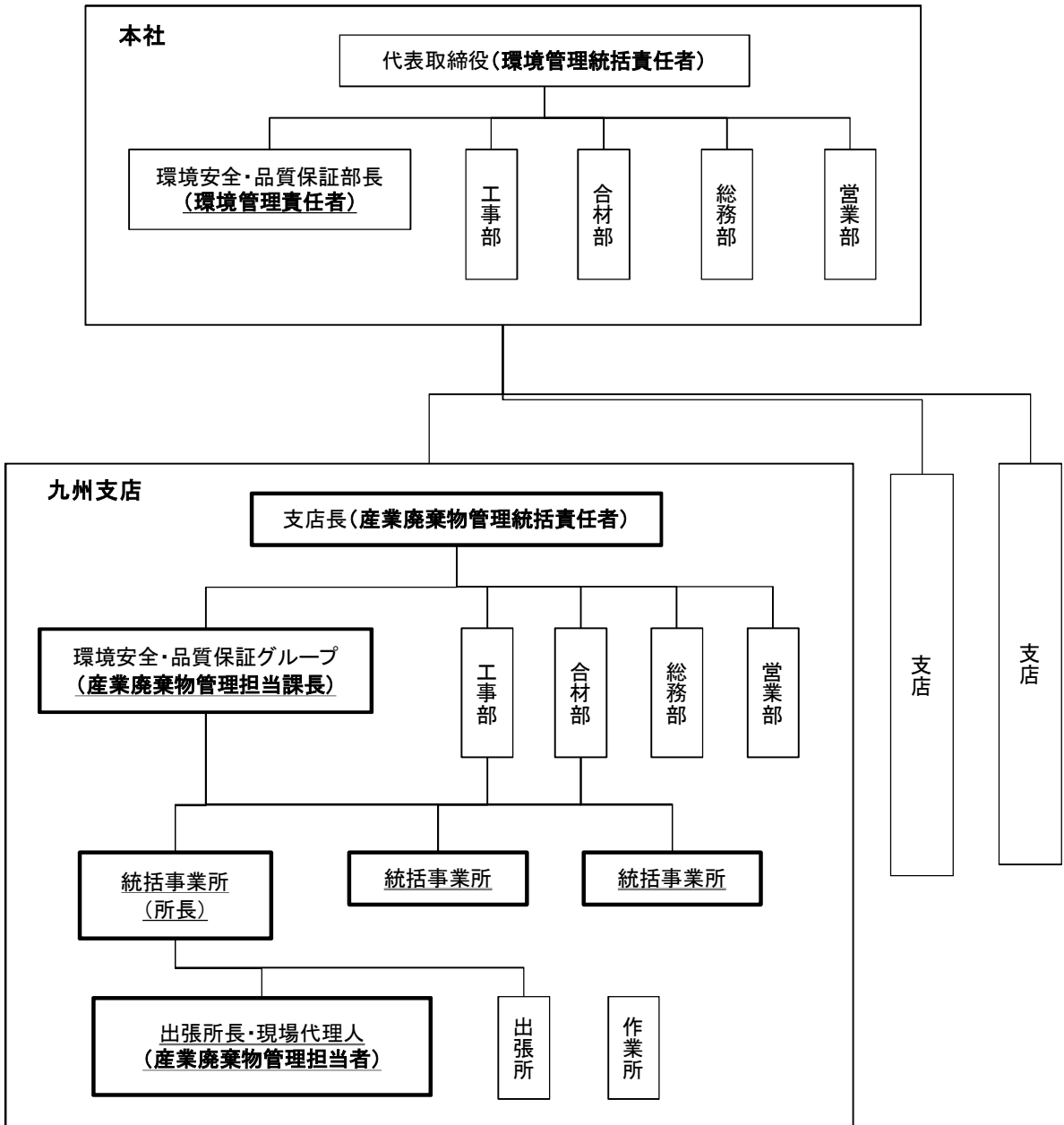
## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(平成27年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) アスコン塊は、自己再生利用率100%(平成27年度)。 それ以外はほとんど委託処分となっている。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自己再生利用率アスコン塊100%の継続を目標に取り組む。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(平成27年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入に関する事項			
①現状	【前年度(平成27年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(平成27年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り中間処理業者に委託し最終処分の削減に努めた。		

②計画	【目標】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 可能な限り自己再生利用を行うとともに、優良認定業者への処理委託 再生利用の推進を行う。	
※事務処理欄		



平成28年度 産業廃棄物処理計画 (大分県)

(株)NIPPO 大分統括事業所

上段:平成28年度目標量

下段:平成27年度実数量

単位: t

記入項目	産業廃棄物発生量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行う量	自己中間処理により減量する量	自ら埋立処分、海洋投入する量	処理委託	
		自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自己中間処理により減量した量	自ら埋立処分、海洋投入した量	処理委託量	再生利用量
産業廃棄物							
アスコン塊	8,500.00	8,500.00	0	0	0	0	0
	8,533.05	8,533.05	0	0	0	0	0
コンクリート塊	10.0	0	0	0	0	10.0	10.0
	3.65	0	0	0	0	3.65	3.65
木くず	1.00	0	0	0	0	1.00	1.00
	1.52	0	0	0	0	1.52	1.52
廃プラスチック類	1.00	0	0	0	0	1.00	1.00
	0.34	0	0	0	0	0.34	0.34
紙くず	1.00	0	0	0	0	1.00	1.00
	0.04	0	0	0	0	0.04	0.04
建設混合廃棄物	5.0	0	0	0	0	5.00	5.00
	2.33	0	0	0	0	2.33	2.33
平成28年度目標量合計	8,518	8,500	0	0	0	18.0	18.0
平成27年度実績合計	8,540.93	8,533.05	0.00	0.00	0.00	7.88	7.88